



●エンジン：最大パワー280ps（ブースト0.4キロ T3ZZ 2キット〔28万円〕、ステンレス42.7φ EXマニ（8万8000円）、60φフルチタンマフラー（7万8000円）、ブリッツスーパーチャージャーキット改、ブリッツインタークーラーキット改、ブリッツオイルクーラー、ブリッツSONIC POWERエアクリナー、トップフーエル パワーNEO、APEX パワーFC、HKS FコンVプロ ●足回り：クワンタムプロトタイプ車高調、NOVAスプリング（F:20kg/mm R:20kg/mm）、4ホッドBIGキャリバーキット（17万8000円） ●タイヤホイール RAYS G-games 77W VAO（F:19×8.0+36 R:19×8.0+36）、FALKEN AZENIS ST115（F:225/35-19 R:225/35-19） ●エアクスティア：トライフォース フロントバンパースポイラー（7万2000円）、トライフォース サイドステップ（5万2000円）、トライフォース リアバンパースポイラー（7万2000円）、トライフォース カナード（左右セット2万円）、GTウイング（カーボン11万8000円） ●インテリア：N1 SPECIAL フルバケットシート（ファブリック/カーボン8万8000円）×2、TAKATA MPH-340WPシートベルト、HKSブーストメーター



●エンジンは2リッターへとスーパーアップされ、スーパーチャージャーによって280psを実現した。足元をキメるのはレイズの新作G-games 77W VAO、8J-19インチをサラッと履きこなす。カーボンファブリック採用のN1スペシャルフルバケットシートがカラーリングコーディネートされる。特徴的なフロントフェイスを創造するのは、トライフォースフロントバンパースポイラーだ。サイドステップはグラフィック処理も手伝って、抜群の一体感を醸し出している。●音響的なEXサウンドを奏でるオリジナル60φフルチタンマフラー。●最新のホットスポーツではビジュアル的に必要不可欠となっているGTウイング、ハヤリの3Dタイプを採用。セリカ同様に赤でキメるのは、老舗チューニングプロショップ「TRIAL」広報担当の谷本真一郎さん。快適性よりもスポーツカーであることを選んだ室内空間は、らしい演出とそれっぽいチョイスで盛り上がる。

流面セリカと呼ばれ、エアロダイナミクスを意識したボディデザイン採用から18年余り、常にセリカというクルマのイメージはラリーカーと、世の中の相場は決まっていた。ZZT23#系が登場して約3年半、様々なスポーツ系セリカが登場した。そんなセリカを、老舗チューニングプロショップのトライアルがデモカーにして数年、小モトファイを繰り返して、パフォーマンスとビジュアルをハイレベルで融合させたホットスポーツを完成させた。まず、走りを強く印象づける動力性能は2リッター・3ZZ化させた。そのうえで、ブリッツのスーパーチャージャーを採用。非力なエンジンを300ps弱にまで昇算させることで、抜群の運動性を入手。さらに、魅せるエンジンルームの演出はチューニングショップの得意とするところでもあり、目を引くカラーコーディネートとレイアウトでまとめられた。チューニングショップらしさは、排気系パーツを独自開発したパーツでかためているところだ。無いモノは造れ、これはチューニングの基本である。ZZT23#系のネックと言われる燃調をはじめとするマネージメントに関しては、トライアルは独自法を確立することでクリアした。メインECUに代わり、パワーFCを採用することで基本的な部分と可変バルタイをコントロール。燃料と点火等には、F-con Vproを採用する。こうしてフルコンをツインドライブさせることで、それまで難しかったZZ系エンジンのセッティングを完全掌握した。発想の転換と、経験に裏付けられた実績が成せるプロの仕事と言える。国内最高峰のフルコンを2基同時に使用する事など誰も想像すらできなかったハズだ。これらの積み重ねによってセントラルサーキット1分25秒台、筑波サーキット2000では1分2秒台を達成している。速く走るために改造を加える、それがチューニングプロショップのアイデンティティ。そして、見れば解るこのルックス、ホットスポーツを強く意識したビジュアルと、国内トップレベルのチューニングが融合した証が、ここで紹介したセリカというワケだ。

取材協力/トライアル  
TEL/072-369-3539  
URL/ http://www.trial.co.jp

## 大阪発クールスタイル

# OSAKA TOY

**TOYOTA CELICA**

日本のチューニング創成期から続く数少ない本物指向のプロショップが、関西の雄"トリアル"。古くは最高速仕様S130Zで記録ラッシュに沸いたり、最近では4気筒の3SGTを80スーパにスワップすることで飛躍的に旋回性を高めてみたりと、技術力の高さを裏付けるような意欲的チューニングが良く知られている。そんな老舗ショップがホットスポーツというスタイルをセリカで具現化した。



TRIAL Mr. Shin

